

■ こんな困りごとはありませんか？

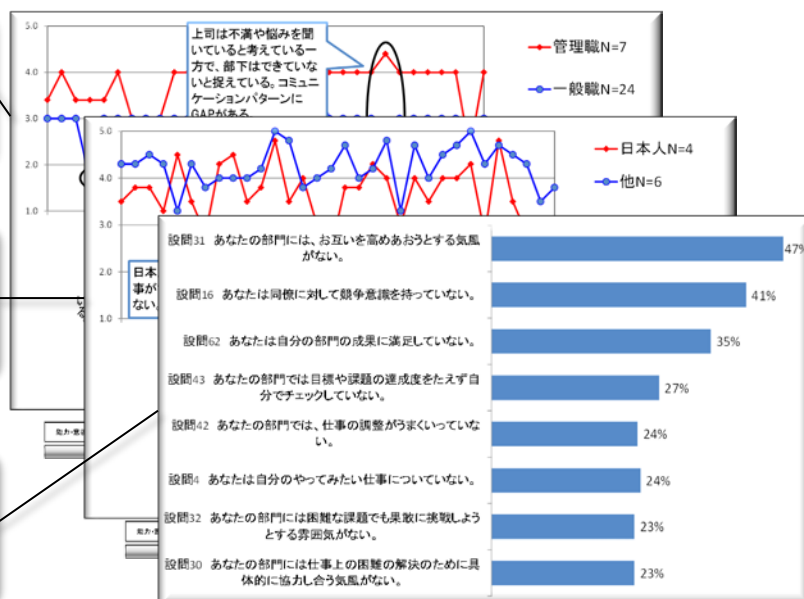
- 本社から海外拠点の実態が掴めない
- 日本人駐在員と現地人でのコミュニケーションが上手くいかない
- 日本人駐在員と現地人の能力・意識に乖離がある
- 海外拠点で日本のマネジメントを適用しているが上手くいかない

本診断では上記、海外拠点を展開する日本企業ならではの「風土問題」の可視化をし、改善への打ち手を明確にします。

☆ 実業務を行うチーム単位に、上司と部下の認識・コミュニケーションGAPを測定。組織風土を可視化

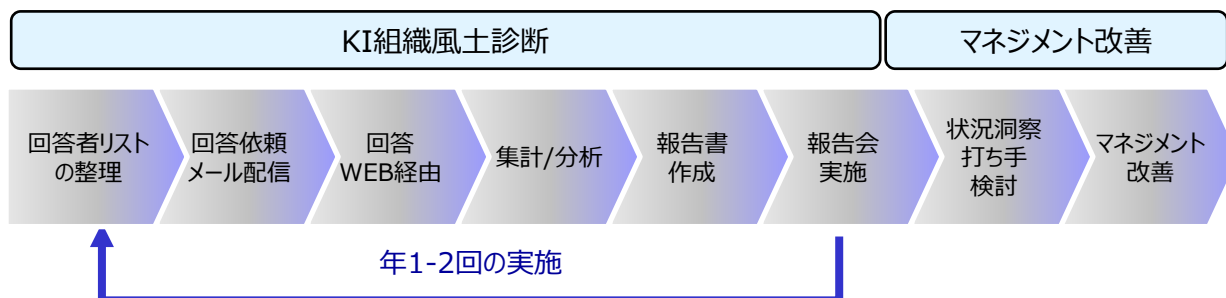
☆ 日本人駐在員の抱える問題や現地人との認識GAPを測定

☆ 一般職の診断結果から組織の抱える問題点を可視化



■ 組織風土診断(KI診断)の実施フロー

組織風土診断(KI診断)は、以下のプロセスを進めます。



- 施策影響度の確認やマネジメント不具合の未然察知の意味から、年1回の定点観測をお勧めします
- Webによる回答の必要時間は、15-20分程度
- 部・室・課・チーム単位で集計し、集計後、報告会を実施します
- 各部門での診断状況に基づき、体制やマネジメント改善への打ち手を行っていただきます